

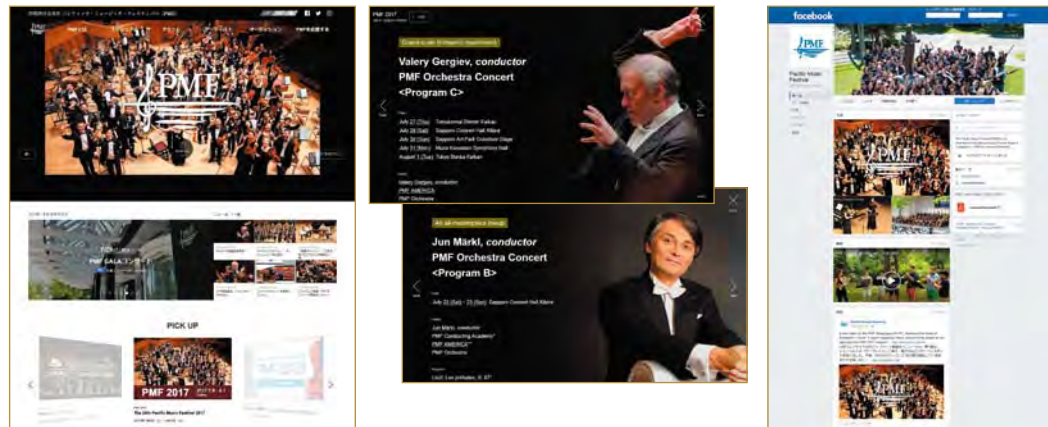
■多くの企業や個人の皆様に支えられているPMF

若手音楽家の育成を目的として1990年に創設された国際教育音楽祭PMF。バーンスタイン亡き後の2回目以降は札幌市が中心となってPMF組織委員会を設立し、運営にあたっています。2010年8月からは国が認定する公益財団法人となりました。音楽祭の運営経費は国や札幌市からの公的助成のほか、多くの企業からの協賛金、個人の皆様の賛助会費や寄付金、入場料収入によって支えられています。

■年間を通じた情報発信・宣伝活動

●公式ウェブサイト/公式フェイスブックページ

国内・海外に向けた情報発信の拠点・情報交換のツール



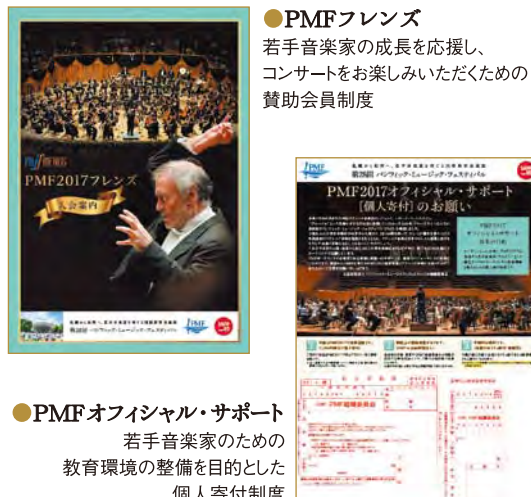
●PMF MUSIC PARTNER (ミュージック・パートナー)

PMFの最新情報と魅力を届ける月刊メール配信サービス



●PMFフレンズ

若手音楽家の成長を応援し、コンサートをお楽しみいただくための賛助会員制度



●PMF オフィシャル・サポート

若手音楽家のための教育環境の整備を目的とした個人寄付制度

国際教育音楽祭パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF)

主催 公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会 / 札幌市

公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会 (通称:PMF組織委員会)

所在地 〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目1-14 住友生命札幌中央ビル1階

TEL : 011-242-2211 FAX : 011-242-1687

E-mail : webmaster@pmf.jp

設立 1991年(任意団体)、2002年(財団法人)、2010年(公益財団法人)

団体の種類 公益財団法人

所管官庁 内閣府

<https://www.pmf.or.jp> PMF 検索

2017年1月発行



札幌から世界へ。若手音楽家を育てる国際教育音楽祭
パシフィック・ミュージック・フェスティバル





オーケストラ・スタディを軸にした教育が音楽性と人間性に磨きをかける 音楽を通じて人を育てる「PMFアカデミー」



音楽を通じて人を育て、音楽の感動を多くの人と分かちあう 国際教育音楽祭パシフィック・ミュージック・フェスティバルの主旋律

パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)は20世紀を代表する指揮者で作曲家のレナード・バーンスタインの提唱により、札幌に創設された国際教育音楽祭です。PMFの主役はオーディションで選ばれ、世界中から参加する若手音楽家たち(PMFアカデミー生)。7月から8月の約1ヵ月間、芸術監督ワレリー・ゲルギエフをはじめ、ウィーン・フィルやベルリン・フィルなど超一流の教授陣から指導を受け、PMFオーケストラとして演奏活動を行います。音楽祭の名称であるパシフィック(Pacific)は、「環太平洋」という

地理的な意味だけでなく、この言葉が持つ「平和」という意味を理念として表したものです。最高の演奏を目指し、同年代の仲間と切磋琢磨しながらオーケストラとして、ひとつの響きを創り上げるPMFでの経験は、彼らを大きく成長させ、国籍や言葉の壁を越えて調和することの素晴らしさ、平和の大きさを伝えます。音楽を通じて人を育て、音楽の感動を多くの人と分かちあうことは、1990年の創設以来、変わることのないPMFの主旋律です。

創設当初から「オーケストラ・アカデミー」を軸にして指揮、声楽などのアカデミー(コース)を設けています。オーケストラ・アカデミーの場合、オーディションに合格して参加する若手音楽家は、PMFオーケストラのメンバーとしてだけでなく、室内楽、独奏にも対応できる演奏技術や音楽家としての心構えなどを、芸術監督や教授陣による指導と実践を通して習得します。各コースのアカデミー生もオーケストラと共演することで音楽性をさらに高め、呼吸を合わせて協調する大切さ、調和することの素晴らしさを学ぶ

ことができます。「コンサートを成功させる」という、ひとつの目標に向かって若手音楽家たちが切磋琢磨するPMFアカデミーの環境は、自分と同じように仲間を一人の音楽家として尊重する人間性を育み、豊かな感性やバイタリティ、信頼感や団結力といった良い流れをもたらします。このようにPMFアカデミーの音楽教育は、クラシック音楽という共通言語のもと、数々のインセンティブ(目標を達成するための刺激・誘因)を作り出し、効果の連鎖を生み出す点が最大の特徴です。

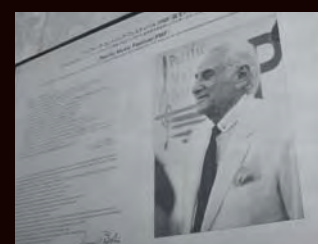
PMFアカデミー ～7つのインセンティブ、7つの効果～

【インセンティブ】

- オーディション**
～才能ある若手音楽家が世界中から集結～
- バックグラウンド**
～国籍や言葉、演奏スタイルの違い～
- 短期集中**
～プロさながらのハードなスケジュール～
- 音楽専用ホール**
～最高の音響を誇る施設で研鑽を積む1ヵ月～
- 教授陣**
～ウィーン・フィルやベルリン・フィルなど超一流のオーケストラ奏者～
- 指揮者やソリスト**
～芸術監督ワレリー・ゲルギエフをはじめとするトップアーティストたち～
- 様々な聴衆**
～クラシック音楽ファン、来街者、児童・生徒、スポンサー関係者など～

【効果】

- 主要オーケストラへの人材輩出**
～世界の音楽シーンを牽引する力～
- クラシック音楽文化の普及・発展**
～演奏者と聴衆の両方を育てる～
- エネルギー**
～同年代との切磋琢磨、バイタリティや団結力～
- 自信と経験**
～音楽人生の指針・原動力、新たな夢や可能性～
- 感動**
～PMFオーケストラの一体感、聴衆からの拍手喝采、達成感～
- 国際交流・国際相互理解**
～日本文化の体験、協調・平和の大切さ～
- 賑わいの創出**
～感動を通じて各地に増えるPMFファンなど～



レナード・バーンスタイン (1918-1990)

アメリカ出身の指揮者、作曲家、ピアニスト。20世紀を代表する指揮者として数々の名演や世界的に有名となったブロードウェイ・ミュージカル「ウエストサイド・ストーリー」「キャンディード序曲」などの作品を残した。

バーンスタインの想いと情熱を受け継ぐ世界のマエストロたち



芸術監督
M. ティルソン・トーマス (1990-2000.09)



芸術監督
クリストフ・エッセンバハ (1991.93-98, 2009)



芸術監督
シャルル・デュトワ (2000-02)



芸術監督、首席指揮者
ファビオ・ルイジ (2004.08.10-12)



芸術監督、首席指揮者
ワレリー・ゲルギエフ (2004.06.15-)



首席指揮者
ベルナルト・ハイティンク (2003)



首席指揮者
ネメロ・サンティ (2005)



首席指揮者
リカルド・ムーティ (2007)



首席指揮者、客演指揮者
準・メルクル (2005.08.13, 15, 17)



バーンスタイン・メモリアル・コンダクター、指揮者 (1990.92-99, 2001.14)
佐渡 裕

PMFアカデミー(コース)の実績

オーケストラ (管弦楽)



コンポジション (作曲)



コンダクティング (指揮)



ヴォーカル (声楽)



弦楽四重奏 (室内楽)



鍵盤楽器 (ピアノ、オルガンなど)

オーディションからPMF参加までの流れ (オーケストラ・アカデミーの場合)

- | | | | | |
|--|--|---|--|--|
| 11月~1月 <ul style="list-style-type: none"> オーディション募集開始 (要項・課題曲などが発表) インターネットの専用サイトから応募 | 2月 <ul style="list-style-type: none"> 審査結果発表 | 3月 <ul style="list-style-type: none"> PMF参加の意志を確認 メンバー確定 | 4月~6月 <ul style="list-style-type: none"> PMFオーケストラの席次を決めるシーティングオーディションの準備 期間中に演奏する室内楽の課題曲などの練習 渡航手続き | 7月 <ul style="list-style-type: none"> 札幌に到着し、アカデミー生としてPMFに参加 |
|--|--|---|--|--|

練習から本番までの流れ (7月~8月)



マスタークラス(個人指導) セクション練習(楽器別) 全体練習 PMFオーケストラ演奏会(本番)

<アカデミー生の渡航費・滞在費・受講費用について>

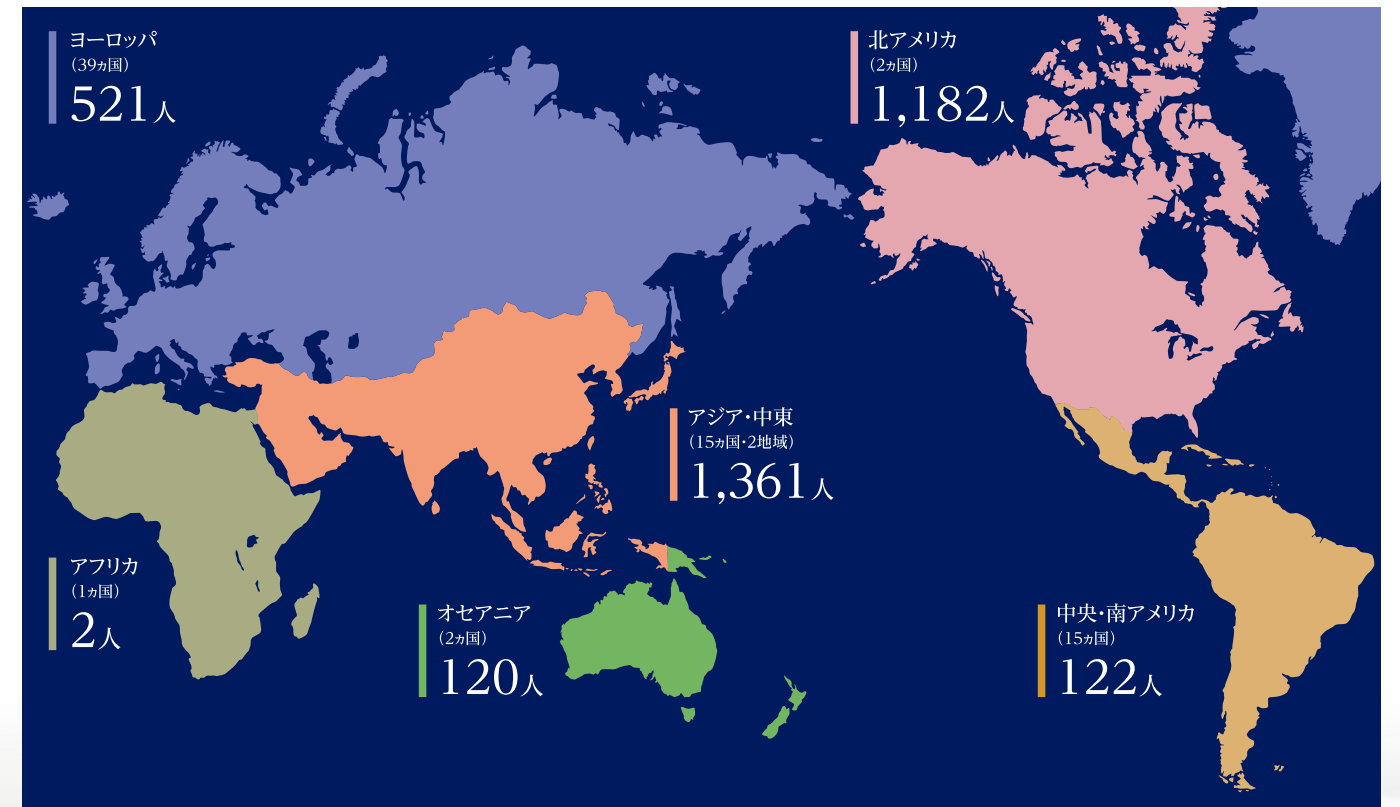
才能ある世界の若手音楽家にチャンスを広げるため、札幌までの渡航費や期間中の滞在費、受講費用の全額をPMF組織委員会が負担します。PMFで学んだ若手音楽家たちはクラシック音楽の伝統と演奏技術を受け継ぎ、一人ひとりが音楽を通じて芸術文化の発展のために世界中で大きな役割を果たしています。このように若手音楽家に対する経済的な援助は世界に広がる“未来への投資”となっています。



PMFの確かな系譜

世界に広がる 修了生のネットワーク

これまでPMFで学んだ若手音楽家は76ヵ国・地域から延べ約3,300人。単純計算すると、100人規模のオーケストラが30以上も誕生したことになります。現在、修了生は200を超えるオーケストラで現役奏者として活躍しており、世界各国・地域のクラシック音楽界でPMFの輪が広がっています。PMFの理念と精神を体得した人材とそのネットワークは、時間をかけて作り上げてきたPMFが誇る確かな系譜です。



PMF修了生が活躍する主要オーケストラ

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 日本
札幌交響楽団
NHK交響楽団
東京交響楽団
東京フィルハーモニー交響楽団
新日本フィルハーモニー交響楽団
読売日本交響楽団
京都市交響楽団 | アジア
北京交響楽団
香港フィルハーモニー管弦楽団
フィルハーモニア台湾
KBS交響楽団(韓国)
マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団
シンガポール交響楽団
ハノイ・フィルハーモニー管弦楽団 | ヨーロッパ
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
ロンドン交響楽団
バリ・オペラ座管弦楽団
チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団
シュターツカペレ・ドレスデン
ウィーン交響楽団 | アメリカ
ニューヨーク・フィルハーモニック
メトロポリタン歌劇場管弦楽団
フィラデルフィア管弦楽団
ボストン交響楽団
クリーヴランド管弦楽団
シカゴ交響楽団
ワシントン・ナショナル交響楽団 |
|--|---|---|--|

PMFの修了生には、時を経てアカデミー生を指導する教授陣として参加するアーティストも目立ちます。バーンスタインの想いをしっかりと受け継ぎながら、毎年、過去から未来に橋を架けるべく、世界の若手音楽家を育て続けるPMFの理念が結実した大きな成果と言えます。



ダニエル・マツカワ
フィラデルフィア管弦楽団
首席ファゴット奏者
(1992, 93, 94 アカデミー生)



デンソン・ポール・ポラード
メトロポリタン歌劇場管弦楽団
トロンボーン奏者
(1995 アカデミー生)



ベンツェ・ボガーニ
ハノーファー音楽演劇メディア大学教授
ファゴット奏者
(1999 アカデミー生)



ドミンゴ・インドヤン
PMF2014客演指揮者
(2003, 04 アカデミー生)

心を動かす瞬間がPMFの新たな歴史をつくる 音楽の感動を多くの人と分かちあうコンサートと音楽普及プログラム

PMFオーケストラ演奏会をはじめとする数々のコンサートは、成果や喜びを聴衆と共有することで、PMFが本当の意味で国際教育音楽祭となる瞬間です。

練習と本番を繰り返す実践教育のなかで、アカデミー生たちは短期間のうちに、めきめきと腕を上げていきます。国籍や言葉などバックグラウンドの違う若者たちが、ひとつのオーケストラとして同じ舞台上で演奏することは、足し算が掛け算になるように個人のレベルを超えた体験となり、その自信や経験、課題などが再び自分を動かし、新たな

扉を開ける大きな力となります。

若手音楽家たちがコンサートで見せる真剣なまなざし、成長を続ける音色は、青春の輝きとパワーを放ち、毎年、多くの人を魅了してやみません。

コンサートのほか、小学生がPMFオーケストラと共演するリンクアップ・コンサート、指導風景を公開するオープンリハーサルなどの音楽普及プログラムも実施し、あらゆる世代がクラシック音楽と出会い、音楽の感動を多くの人と分かちあう取り組みを行っています。

PMFオーケストラ演奏会

一期一会のオーケストラが放つ輝きとエネルギー



室内楽演奏会

楽器本来の魅力と演奏者の息づかいを感じるアンサンブルの楽しさ

教授陣による演奏会

最高峰の音楽家たちの実力と響きを堪能



PMF GALAコンサート

洗練された音楽と華やかな雰囲気満ちたひととき



アウトリーチ・コンサート

音楽ホールを飛び出して広がるクラシック音楽の可能性



ピクニックコンサート <レナード・バーンスタイン・メモリアル・コンサート>

バーンスタインの魂が宿る森に響き渡るクラシックの音色



音楽普及プログラム



PMF2016 リンクアップ・コンサート



教育セミナー

PMFに参加する教授陣や出演アーティストなどが教育の視点から音楽について語る講座です。



吹奏楽セミナー

札幌市内の中学・高校の吹奏楽部を対象に、2013年から教授陣によるセミナーやクリニックを開催しています。

PMFリンクアップ・コンサート

札幌市教育委員会と協力し、2013年からニューヨークのカーネギーホールの小学生向け音楽教育プログラムをもとにしたPMFリンクアップ・コンサートを実施しています。札幌市内の小学6年生が春から音楽の授業などで、音楽を形づくっている要素や仕組みについて学び、歌やリコーダーによる演奏に取り組み、7月にPMFオーケストラと共演します。オーケストラとリンクアップする(つながる)喜び、「できた」という体験が毎年、小学生たちの目をキラッと輝かせています。



オープンリハーサル

PMFオーケストラのリハーサルやゲネプロ(本番直前の総練習)を一般に公開しています。指揮者とオーケストラが取り組む音作りの現場は、本番とは違った臨場感と緊張感にあふれ、指導する側の情熱とアカデミー生たちの向上心が響きあう風景です。



札幌の都市と自然、市民とともにあるPMF



PMF大通公園コンサート



市立札幌病院のボランティアコンサート



PMFの期間中には、市民ボランティアが様々な場面で音楽祭をサポートしており、着物やお茶などを楽しめる日本文化体験プログラムは、アカデミー生から大人気の恒例イベントになっています。



札幌市役所(本庁舎1階)の市民ロビーコンサート

PMFでは、優れた音響を誇る札幌コンサートホール *Kijitara* と自然あふれる札幌芸術の森を拠点に教育プログラムとコンサートが展開され、多くの市民が参加します。札幌の豊かな風土と最高の音楽教育が融合した“夢のミュージック・キャンプ”です。街が深緑と青空で輝き、7月が近づいて来ると、PMFの開催を告げるフラッグが中心部に設えられ、札幌は“音楽の街、音楽の夏”になります。

